

ステレオラジオ
カセットプレーヤー
Stereo Radio Cassette Player

Panasonic®

お客様相談

'95. 4. 06

田端

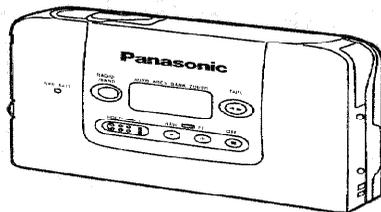
品番 RQ-SX22V

取扱説明書
Operating Instructions

このたびは、ステレオラジオカセットプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要などきお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



保証書付

上手に使うって上手に節約

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年	月	日	品番	RQ-SX22V
販売店名				☎ ()	-
お近くの ご相談センター				☎ ()	-

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

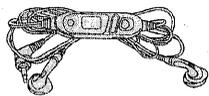
品番	RQ-SX22V		
保証期間	日	から	1 年
* お買い上げ日			
* お客様	お名前		
	電話 ()		
* 販売店	住所・店名		
	電話 ()		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

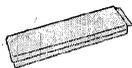
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 TEL (06) 909-1021

ご販売店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

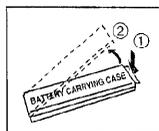
付属品



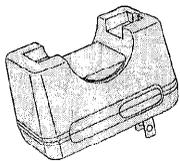
リモコン付
ステレオインサイドホン



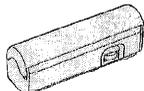
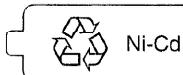
充電式ニカド電池
ご使用前にケースから取り出します。



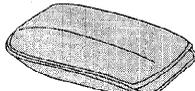
使用済みの充電式ニカド電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。



充電器



乾電池ケース (乾電池入り)



キャリングケース

別売り品について

■スピーカーで聞くととき
(Ω 端子に接続します。)
ステレオミニスピーカー

■ステレオ機器で録音するとき
(Ω 端子に接続します。)
フォーンツウピンコードS

RP-SP25

RP-CA59A

ステレオミニスピーカー (アンプ内蔵)

■その他

専用充電式ニカド電池

RP-SP50

RP-SP70

RP-SP100

RP-BP61

ヘッドクリーニングキット

RP-919

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにされない場合には、お近くの修理相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外 (例えば業務用など) に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お近くの修理相談窓口は別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

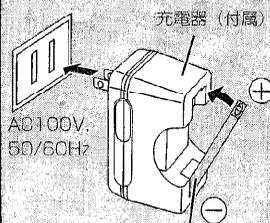
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にお問合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※This warranty is valid only for Japan.

電源について

充電式電池、または単3形乾電池1個で使えます。

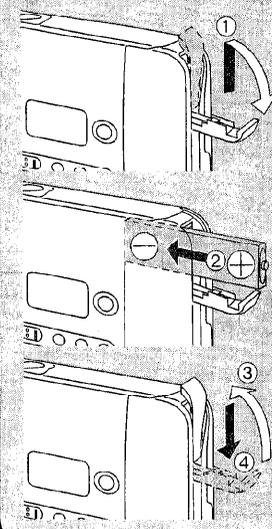
充電式電池で使う

- 充電する**
お買い上げ時には充電されていません。



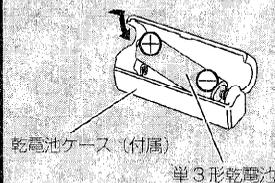
- 充電式電池を入れる**
充電後はコンセントから抜いてください。

2 充電式電池を入れる

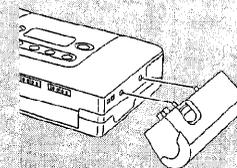


乾電池で使う

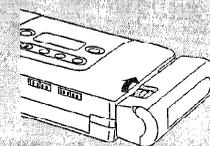
- 乾電池を入れる**
お買い上げ時には、付属乾電池が入っています。



- ケースを取り付ける**
①端子の位置を合わせる。



- ②ねじを締めて固定する。



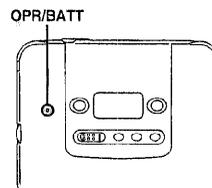
充電式電池と乾電池を併用すると長時間再生できます。乾電池は寿命の長いパナソニックアルカリ (白) をおすすめします。

充電時間について

約2時間の充電 (フル充電) で約5時間再生できます。

電池が消耗すると

OPR/BATT ランプが暗くなったり、消えます。充電するか、乾電池を交換してください。電池が消耗すると、音がはずんだり、正常に動作しないことがあります。



充電式電池について

充電式電池はあなたの手元に届くまでの長旅で、ちょっと疲れています。まず、充電器で元気を回復してあげてください。

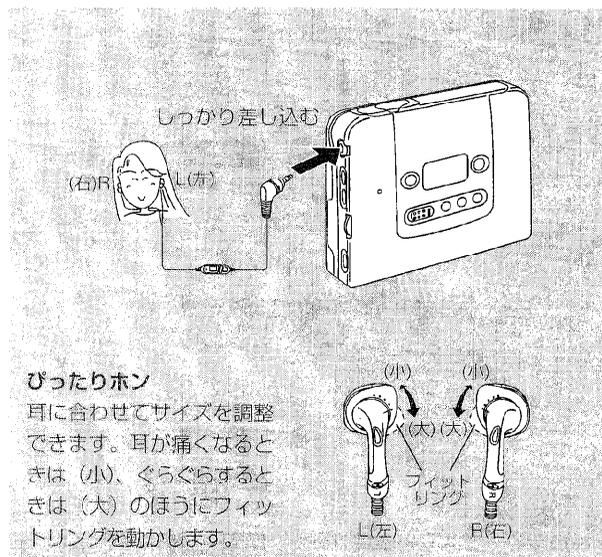
お買い上げ時には充電されていません。

長時間使わなかった後も必ず充電してください。

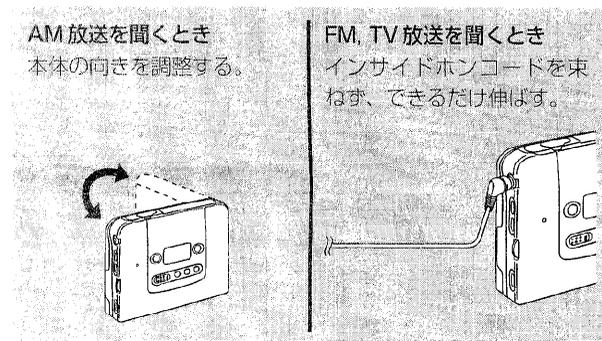


準備

インサイドホンをつなぐ



アンテナを調整する



ホールド機能について

誤ってボタンが押されても、受け付けないようにする機能です。
次のようなことを防ぎたいときにお使いください。

- 1: 使っていないときに電源が入り、電池が消耗する。
- 2: 使用中に演奏が中断してしまう。

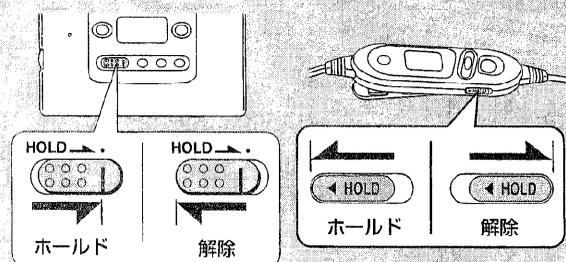
■ホールド機能を使うには

HOLDつまみを HOLD 位置にする (ホールド状態)。

- 本体/リモコンにそれぞれ HOLD つまみがあり、別々にホールドになります。

■操作する前には

必ず操作する側の HOLD つまみを解除してください。



リモコンのディスプレイに「HOLD」と表示されたら
リモコンがホールド状態になっています。

放送局を自動設定する

窓際など受信しやすい所でインサイドホンコードを伸ばして、行ってください。

オートエリアバンク

本機は、全国41か所とJR新幹線で聞ける放送局を、地域(エリア)ごとにあらかじめ記憶しています【エリアバンク】。エリアを設定するだけで、簡単に選局できます。オートエリアバンクは、現在地を判断して自動的にエリアを設定する機能です。



■「ERROR」と表示されたら

自動設定できませんでした。
オートメモリーするか、手動で設定(うら面参照)してください。

オートメモリー

オートエリアバンクで「ERROR」と表示されたり、自分の地域で聞ける放送局だけを受信したいとき、放送局を記憶させます。海外で使うときも便利です。



■「ERROR」と表示されたら

受信状態が悪く1局も記憶できませんでした。
手動で放送局を設定してください。(うら面参照)

ラジオを聞く

●FMはステレオで、AM、TVはモノラルでお楽しみいただけます。

1 「RADIO/BAND」を押す
電源が入ります。

2 バンドを選ぶ
押すたびに
→ AM ビレ
↓
→ FM ビレ
↓
→ TV ビレ

3 選局モードを選ぶ
押すたびに
→ 表示なし …… 放送局を設定していないとき。
↓
→ AREA …… オートエリアバンクで放送局を設定したとき。
↓
→ MEMORY …… オートメモリーで放送局を設定したとき。

4 選局する
+ : 上がる
- : 下がる
選局モードが表示なしのとき、周波数が動く。
“AREA” または “MEMORY” 表示中：記憶された放送局を順番に受信。

5 好みの音量にする

6 使用後、「OFF」を押す
電源が切れます。

MEMORY FM
M 3 800
メモリー番号 周波数

STEREO MODE MONO ST

FMのステレオ放送で雑音が多いとき



音声はモノラルになりますが、雑音が減って聞きやすくなります。通常は“ST”にしておくと、ステレオ放送のとき、ステレオ音声で楽しめます。

自動で選局するには

(選局モードで表示なしを選んだとき)
上の手順4で「+」、「-」を1秒以上押し続けると、周波数が動き始め、放送局を受信すると自動停止します。自動選局を止めるには、もう1度ボタンを押します。

ご注意

- 乗り物や建物のなかでは、電波が弱まり聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。また、トンネルや地下鉄内では聞こえないことがあります。
- ラジオを聞きながらテープを入れると、約2秒間音が途切れます。
- 正常に受信できないときや、TVバンドが使えないときは、周波数ステップを合わせなおしてください(うら面「海外で受信するには」参照)。

音質を変えて楽しむ

ASC EQ : アメニティサウンドコントロールイコライザー

リモコン操作のみ

ラジオ受信/テープ再生中に押す
押すたびに
ビ ビビ ビビビ
NOR (解除) → S-XBS → TRAIN

(リモコンの表示パネル)

音質表示

S-XBS
迫力ある重低音で聞くととき。
●音がひずむときは、音量を下げてください。

TRAIN【電車ポジション】
電車の中で聞くととき。
自然な音質で楽しむと同時に、長時間使用したときの聞き疲れをやわらげます。また、周囲に迷惑な音漏れを少なくします。

テープを聞く

●ノーマルポジション (TYPE I)、ハイポジション (クローム、TYPE II)、またはメタル (TYPE IV) タイプのテープが使えます。テープの種類は自動的に判別します。

再生モードを選ぶ

再生モードを選ぶ

両面を繰り返し再生。
ブランクスキップが働く。

おもて面→うら面を1回再生して自動停止。
(停止前にピーと鳴ります)
ブランクスキップ解除。

【ブランクスキップ】(B.S)

再生中に約 13 秒以上の無音部があると、ピピと鳴って早送りし、反対面の始めから再生します。

【注意】

- 最終曲の終り近くから再生を始めると、ブランクスキップが働かないことがあります。
- 小さい音が約 13 秒以上続くとき早送りされることがあります。クラシック音楽などを聞くときは、OFF/▶位置にし、ブランクスキップを解除してください。

今の曲を繰り返して聞く

【1 曲リピート】リモコン操作のみ

- ASC EQ 再生中に 1 秒以上押す。
●表示パネルに "1-RPT" (本体)；または "RPT" を表示。

解除するには

もう一度、「ASC EQ」を 1 秒以上押す。停止や頭出しなど、動作を切り換えたときも解除されます。

【注意】

- 頭出し、1 曲リピートは曲間の無音部を利用してしているため、次のようなときは正しく働きません。
- 曲間の無音部が約 4 秒以下のときや、雑音が入っているとき
 - 次の曲間までが 10 秒以下の位置で動作を始めたとき
 - 曲中に長い無音部があるとき
 - 小さい音や、低い音が続くとき
 - 徐々に音量が上がったり下がったりするとき

1 テープを入れる

ふたがスライドするのでテープの出し入れが簡単です。【deru カゼ】

- ふたを開けるとテープのたるみが巻き取られ、おもて面再生に切り換わります。

2 再生を始める

ふたを開閉するまで、前に聞いていた面から再生します。

3 好みの音量にする

4 使用後、「■」を押す

テープが止まり電源が切れます。

前後 3 曲の頭出しをする

【さるとびサーチ】

(TPS: テーププログラムセンサー)
再生中、ボタンを押した回数だけ曲を飛び越します。

- FF 前進して飛び越す。
- REW 後退して飛び越す。
(1 回押すと今の曲の頭に戻ります。)

頭出し動作中は表示パネルに、飛び越す曲数が表示されます。またピという音の回数でも飛び越す曲数が分かります。

飛び越す曲数を変更するには

頭出し動作中に「FF」または「REW」を押すと、飛び越す曲数の追加や削除ができます。

頭出しを途中で止めるには

「◀▶」を押すと再生に戻ります。

ドルビー B NR 録音されたテープを聞くとき

ドルビー NR とだけ記載された市販の録音済テープは全て B タイプです。

反対面を聞くには

- TAPE 再生中に押す。

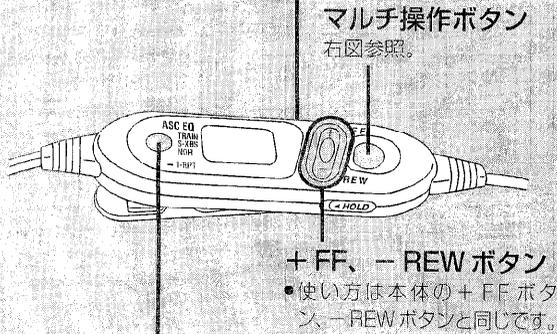
早送り・巻戻しするには

- FF 停止中に押す。(早送り)
- REW 停止中に押す。(巻戻し)

リモコンで操作する

VOLUMEつまみ (音量)

- 本体のVOLUMEつまみは5-7の位置にしておきます。



ASC EQ ボタン (音質切換、1曲リピート)

- 裏面の「音質を変えて楽しむ」、「今の曲を繰り返して聞く」をご覧ください。

【光るリモコン】

操作時や動作状態が変わったときに、表示パネルが約5秒間明るくなります。暗い所で使うときに便利です。また表示文字盤には蓄光剤*を採用しているので、表示パネル周囲の文字も暗い所で明るく光ります。

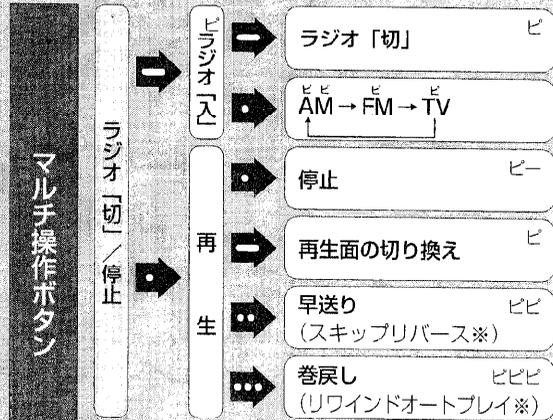
*太陽光で約5分、蛍光灯の光で約1時間で光を集め、暗い所で発光するものです。(発光時間約1時間)

【抗菌対応インサイドホン】

耳に触れる部分と、イヤホン側のコードに抗菌処理をしています。

ボタンの押し方

- 1回
 - 2回
 - 3回
 - 1秒以上
- 2回、3回と押すときは、1秒以内にできるだけ等間隔で!



早送り、巻戻し中に1回押すと再生に切り換わります。
*スキップリバース………反対面の始めから自動再生
リワインドオートプレイ……同じ面の始めから自動再生

【ご参考】

- ボタンを押すとビという音に続いて、区中のような確認音が鳴り、動作を確認できます。
- テープが入っていないときにマルチ操作ボタンを1回押すとビビビビと鳴って知らせます。

【お願い】

電池を入れ換えた直後の本体ボタン操作でリモコンの表示パネルに表示が出ないときは、リモコンのマルチ操作ボタンを操作してください。

リモコン表示パネルの表示例

動作状態	表示	例
ラジオ受信中	バンドと周波数。	FM80.0
オートエリアバンク オートメモリー、自動選局中	"Auto" を表示。	Auto
再生中	"PLAY" 表示がスクロールして、 テープの走行方向を表示。	PLAY

＜サービス伝言カード＞

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店にお持ちください。

お名前	
ご住所 ご連絡先	
商品名	ステレオラジオカセットプレーヤー
品番	RQ-SX22V
ご購入日	ご依頼日
…故障または異常の内容… (この様な場所で、…していた時、こんな故障になった)	
※私の希望修理代金は_____円迄です	

故障と思う前にちょっとチェックを

- OPR/BATT ランプが明るいなら電池はOK。
暗くなったら電池が減っています。
- インサイドホンプラグは奥まで入っていますか?
- あれ? 動かない?
- あれ? 聞こえない?
- あれ? リモコンがきかない?
- 本体のつまみがホールド側になっていませんか?
- リモコンのつまみがホールド側になっていませんか?

放送局を手動設定する

自動設定で“ERROR”と表示されたときや、もっと細かい設定をしたいときに使います。「RADIO/BAND」を押してから、操作してください。

手動でエリアを設定する

1. 「MODE」を押し、「AREA」を選ぶ。
2. 「AUTO」をポンと押す。「AREA」が点滅します。
3. 表示が点滅中に、「+」、「-」を押し、エリア番号を選ぶ。(別紙「エリアバンク一覧表」参照)
地域名を約5秒間表示した後ピピピと鳴り、設定されます。

手動で放送局を記憶させる

好みの放送局を1局ずつ記憶させます。

(AM/FM/TV各々9局まで)

1. 「MODE」を押し、「MEMORY」を選ぶ。
2. 「RADIO/BAND」を押し、バンドを選ぶ。
3. 「MEMORY」を1秒以上押す。「M」と周波数が点滅します。
4. 表示が点滅中に「+」、「-」を押し、選局する。
5. 「MEMORY」を押す。「M」とメモリー番号が点滅します。

6. 表示が点滅中に「+」、「-」を押し、メモリー番号を選ぶ。



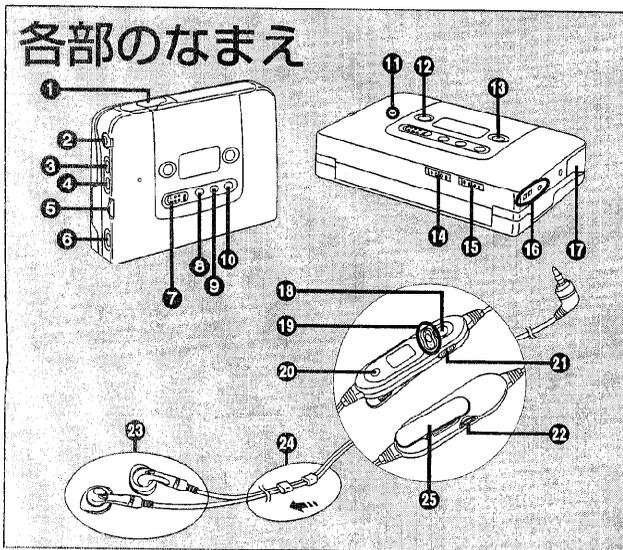
メモリー番号

7. 「MEMORY」を押す。ピピピと音が鳴ります。他の放送局を記憶させるには手順2-7を繰り返す。

エリアバンクに放送局を追加する

お使いの地域で新しい放送局が開局されたときに便利です。各バンドごとに1局ずつ追加できます。

1. 「MODE」を押し、「AREA」を選ぶ。
2. 「RADIO/BAND」を押し、バンドを選ぶ。
3. 「MEMORY」を1秒以上押す。「M」と周波数が点滅します。
4. 表示が点滅中に「+」、「-」を押し、選局する。
5. 「MEMORY」を押す。



各部のなまえ

- 1 OPEN (カセットふた開) つまみ
- 2 (ヘッドホン) 端子
- 3 MODE ボタン
- 4 AUTO ボタン
- 5 VOLUME (音量) つまみ
- 6 MEMORY ボタン
- 7 HOLD (本体用ホールド) つまみ
- 8 +、REW (選局、巻戻し、頭出し) ボタン
- 9 +、F、F、(選局、早送り、頭出し) ボタン
- 10 OFF (ラジオ「切」、停止) ボタン
- 11 O P R / B A T T (動作、電池チェック) ランプ
- 12 RADIO/BAND (ラジオ「入」、バンド) ボタン
- 13 <、>、TAPE (再生、方向切換) ボタン
- 14 B.S./REV MODE、STEREO MODE (再生モード、ステレオモード) つまみ

- 15 FMレコーズリダクション
- 16 N R つまみ
- 17 乾電池ケース接続端子
- 18 電池ふた

リモコン付ステレオインサイドホン

- 18 MAIN KEY (マルチ操作) ボタン
- 19 + FF、- REW ボタン
- 20 ASC EQ (音質切替、1曲リピート) ボタン
- 21 HOLD (リモコン用ホールド) つまみ
- 22 VOLUME (音量) つまみ
- 23 ぴったりホン
- 24 スライダー
使わないときは、コードのからみを防ぐため移動させます。
- 25 クリップ

ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号は、ドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

Operating Instructions

Before Operation

Plug the stereo earphones

Adjust the antenna

AM: Turn the unit to get the best result.

FM: Earphones cord works as an antenna.

Extend the cord.

Hold function

When in the hold state, the unit will not operate even if one of the buttons is pressed. Before operation, be sure to slide the hold switch on either the main unit (7) or the remote controller (21) with which you operate.

Radio operation

Selecting the area automatically (Auto Area Bank)

This unit equipped with an area bank function, allowing you to easily listen to previously stored stations in any of the 41 regions and JR (those JR Shinkansen lines equipped with on-board FM broadcasts).

1. Plug the stereo earphones.
2. Press RADIO/BAND (2).
3. Press MODE (3) to select the "AREA" mode.
4. Press AUTO (4) for more than 1 second.

Presetting broadcast stations automatically

27 stations (9 each band) can be stored into the memory.

1. Plug the stereo earphones.
2. Press RADIO/BAND (2).
3. Press MODE (3) to select the "MEMORY" mode.
4. Press AUTO (4) for more than 1 second.

Listening to the radio

1. Press RADIO/BAND (2).
2. Press RADIO/BAND (2) to select the band.
3. Press MODE (3) to select the reception mode (AREA, MEMORY, and manual).

Manual

To receive the station not stored in the memory.

AREA

To receive the station stored in the AREA mode.

MEMORY

To receive the station stored in the MEMORY mode.

4. Press + (increase) (8) or - (decrease) (9) to select the station.

5. Adjust the VOLUME (5, 22).

To switch off the radio, press OFF (10).

When the radio reception is poor, set the STEREO MODE (11) to "MONO".

Selecting the area manually

1. Press RADIO/BAND (2).
2. Press MODE (3) to select "AREA" mode.
3. Press AUTO (4).
4. Press + (8) or - (9) to select the area.

Presetting the station manually

1. Press RADIO/BAND (2).
2. Press MODE (3) to select "MEMORY" mode.
3. Press RADIO/BAND (2) to select the band.
4. Press MEMORY (6) for more than 1 second.
5. Press + (8) or - (9) to select the broadcast frequency.
6. Press MEMORY (6).
7. Press + (8) or - (9) to select the memory number.
8. Press MEMORY (6).

Adding the preset station into the "AREA" mode

Allows you to add an additional station in each of the band. This is convenient for storing newly opened broadcast station.

1. Press RADIO/BAND (2).
2. Press MODE (3) to select the "AREA" mode.
3. Press RADIO/BAND (2) to select the band.
4. Press MEMORY (6) for more than 1 second.
5. Press + (8) or - (9) to select the broadcast frequency.
6. Press MEMORY (6).
The station is stored as the memory number "A".

How to remove unnecessary memory number

You can skip the removed memory number for easy selection.

1. Set the reception mode to "AREA" or "MEMORY" and select the memory number that you want to remove. (Refer to steps 1-4 on "Listening to the radio.")
2. Press MEMORY (6) for more than 1 second.
3. Press both + (8) and - (9).
"-----" is displayed.
4. Press MEMORY (6).

When using overseas

Before using abroad, proceed with the following steps and adjust the allocation settings

1. Press RADIO/BAND (2).
2. Press MODE (3) for more than 5 seconds.
3. Press + (8) or - (9) to select the AM allocation setting (Japan, 9kHz, 10kHz).
4. Press MODE (3) for more than 5 seconds.

ピピピと音が鳴り、各バンドの最後にメモリー番号“A”として記憶されます。

使わないメモリー番号を消す

使わないメモリー番号を消しておくとう選局時に飛び越されます。

1. 選局モードを“AREA”または“MEMORY”表示にして、消したいメモリー番号を選ぶ。(「ラジオを聞く」手順1-4)
2. 「MEMORY」を1秒以上押す。
3. 「+」と「-」を同時に押す。“----”が表示されます。

4. 「MEMORY」を押す。ピピピと音が鳴ります。消した放送局を再び使うには(AREA表示中)オートエリアバンク操作を行う。(MEMORY表示中)もう一度記憶させる。

海外で受信するには

AMの周波数ステップやFMの周波数範囲は、国や地域によって異なります。海外で使うときはラジオ「入」の後、次の操作をして、周波数のステップを切り換えてください。

地域	ステップ
日本国内	JAPAN
東南アジア ヨーロッパ	W9k (9kHz)
北米 中南米、 東南アジアの一部	W10k (10kHz)

1. 「MODE」を5秒以上押す。“JAPAN”などが点滅します。
2. 「+」、「-」を押して使用する地域のステップを選ぶ。
3. 「MODE」を5秒以上押す。ピピピと音が鳴ります。

ご注意

- 9、10kHzのときはエリアバンク、TVバンドは使えません。
- ステップを切り換えると“MEMORY”表示中に記憶した放送局は消えます。

使用上のご注意

Tape Operation

Listening to tapes

1. Slide OPEN ① to open the cover and insert the cassette.
2. Press ◀▶ ②.
3. Adjust the volume ③, ④. To stop play, press ■ ⑤. To change the tape direction, press ◀▶ ⑥ during play. To play the tape with Dolby NR, set the NR selector ⑦ to ON.

B.S/REV MODE selector ⑧

ON(▶)

Both sides of the cassette are played continuously. Blank skip function works. (Blank skip)

When a silent part of more than 13 seconds is detected during play, the tape will play the opposite side.

OFF(◀)

For play of forward and then the reverse side. Blank skip doesn't work. Fast forward and rewind.

Press FF ⑨ (fast forward) or REW ⑩ (rewind) in the stop mode.

Finding the beginning of the tune

During play, press FF ⑨ or REW ⑩ once, twice or three times to skip as many tunes as the button is pressed. (FF : Forward TPS) (REW : Backward TPS)

Repeating the current tune

Press and hold ASC EQ ⑪ during play. To release one-repeat function, press and hold ASC EQ ⑪ again.

Changing the Tone

Press ASC EQ ⑪ during radio reception or tape play.

S-XBS

This will boost the low frequency range.

TRAIN

This will make the more amenity sound possible in the noise in the train. Also, it will lessen the leaking noisy high sound disturbing people around you.

Remote Control Operation

Multi operation button ⑬

●Radio operation

Press and hold to turn on or switch off the radio.

Press once to change the band.

●Tape operation

(In the stop mode)

Press once to play.

(In the play mode)

Press and hold to change the direction.

Press once to stop.

Press twice to fast forward and play from beginning of the opposite side.

Press three times to rewind and play from beginning of the same side.

+ , - button ⑭

You can operate them as the same way as the + FF ⑨ or - REW ⑩ on the main unit.

Volume control ⑮

Before using, set the VOLUME on the main unit ⑮ between levels 5 and 7.

Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation.

“DOLBY” and the double-D symbol ⑯ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

本体

■加工・改造はしない

故障の原因になります。

■落としたり、強い衝撃をあてない

破損することがあります。

■避けてほしい使用場所は

次のような場所で使用すると故障の原因になります。

1. 風呂場など湿気の多い所
2. 倉庫などほこりの多い所
3. 暖房器の近くなど温度の高い所

ステレオインサイドホン

●耳をあまり刺激しないよう、また、周囲の人へ迷惑にならない程度の適度な音量でお楽しみください。

●本体に巻き付けるときは、コードにたるみを持たせてゆるく巻いてください。

●付属以外のリモコン付インサイドホンは、誤動作の原因となりますので使用しないでください。

●付属以外のインサイドホンや、別売スピーカーを接続すると、操作時に「プ」という雑音が出る場合があります。このときは、一度電池を取り外してください。

充電式電池・充電器

●充電中は、充電式電池と充電器が熱を持ちますが、異常ではありません。

●寿命が短くなりますので、12時間以上充電しないでください。

●初めて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か繰り返して充・放電すると通常の使用時間に戻ります。

●充電式電池は約300回充電できます。

- 充電しても電池持続時間が極端に短い場合(約30分以下)は、充電式電池の寿命です。新しい充電式電池をお求めください。
- 消耗した充電式電池が本体に入ったままになっていると、新しい乾電池を取り付けても正常に動作しないことがあります。そのときは、充電式電池を取り外してください。

90分を超えるテープ

長時間の使用には便利ですが、こまごまな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますのでご注意ください。

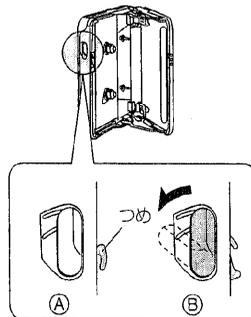
エンドレステープについて

使用方法を誤ると、テープが回転部分に巻込まれます。必ずテープについている使用説明書をお読みください。

なお、本機はオートリバース対応のため、オートリバース対応のテープをご使用になることをおすすめします。

カセットふた

つめが下の図(A)のようになっているとふたが閉まりません。無理に閉じようとするとうたが変形することがあります。このときは、カセットふた開つまみをまわして図(B)のようにしてからふたを閉じます。



お手入れ

本体

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。

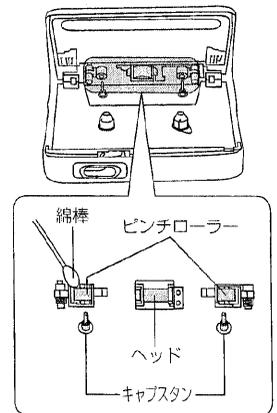
インサイドホンのプラグ

音が途切れたり、プラグを回転させたときはプラグをきれいにふいてください。



ヘッド部

よい音でお楽しみいただくために、ときどきヘッドなどをヘッドクリーニングキット(RP-919、別売り)できれいにしてください。



保証とアフターサービス

よくお読みください。

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（表紙の下をご覧ください）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのもと、保存してください。

保証期間 — お買い上げ日から1年間

■修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

「サービス伝言カード」（「リモコンで操作する」の下）をご使用になると便利です。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部分です。

定格

トラック方式：ステレオ

周波数範囲(ノーマルポジション/ハイポジション/メタル)

: 15 — 20000Hz (EIAJ)

出力端子

ヘッドホン：16Ω (M3 ジャック)

実用最大出力：5mW + 5mW (EIAJ)

電源

充電式電池：DC 1.2V

(専用充電式電池)

乾電池：DC 1.5V

(単3形乾電池×1個)

寸法

最大外形寸法：109.2 (W) × 79.0

(H) 23.9 (D) mm

(EIAJ)

本体寸法：108.0 (W) × 77.5

(H) × 23.5 (D) mm

質量(重量)：約195g

(充電式電池含む)

充電器

入力：AC 100V 50/60 Hz 5VA

出力：DC 1.2V 350mA

受信周波数：

ステップ	AM	FM	TV
JAPAN	522-1629kHz	76.0-90.0MHz	1-12ch
W9kHz	522-1629kHz	87.5-108.0MHz	—
W10kHz	520-1710kHz	87.5-108.0MHz	—

電池持続時間 (EIAJ)：

使用電池	再生時	ラジオ受信時
充電式電池*	約5時間	約7時間30分
ナショナルネオ《黒》乾電池 (R6PU)	約5時間	約8時間
充電式電池*とナショナルネオ《黒》乾電池 (R6PU) 併用	約10時間	約16時間
パナソニックアルカリ乾電池 (LR6)	約13時間	約21時間30分
充電式電池*とパナソニックアルカリ乾電池 (LR6) 併用	約18時間	約30時間

* 付属充電式電池フル充電時

●電池持続時間は使用条件によって短くなることがあります。

●この定格は、性能向上のため変更することがあります。

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。